

# 事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2022年 12月 14日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者  
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
京都市下京器烏丸通七条下る東塩小路町721  
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
京阪ホテルズ&リゾート株式会社  
代表取締役社長 稲地 利彦

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項・第25条第4項  
第27条第1項・第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) ]  
[事業者行動報告書を作成 ]  
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	京阪ホテルズ&リゾート株式会社 代表取締役社長 稲地 利彦
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	京都市下京器烏丸通七条下る東塩小路町721番地

## 1 事業者の概要

事業所の名称	琵琶湖ホテル								
事業所の所在地	大津市浜町2番40号								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	7	5	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 旅館・ホテル			
事業の概要	旅館・ホテル								
従業員の数	233	人	操業時間	24	時間/日				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	3	台	熱源設備	9	台	照明設備	5817	台
	コンプレッサ		台	空気調和設備	26	台	その他		

## 2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	22	年度	報告対象年度	年度
	終了年度	24	年度		

## 3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

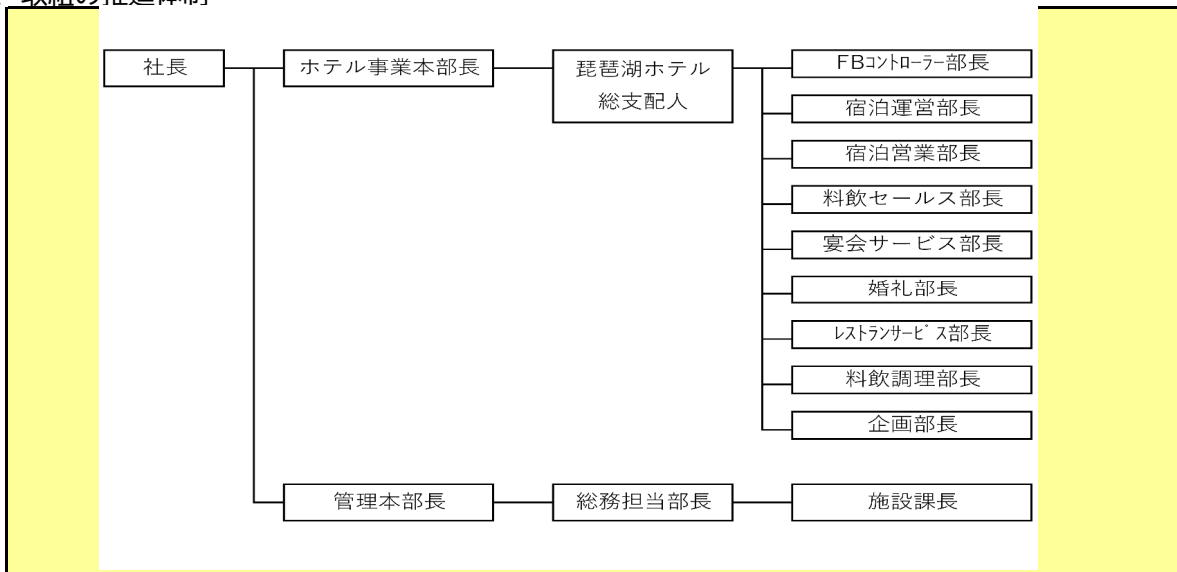
1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

**環境宣言**  
**基本理念**  
 京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社の全従業員は、「地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを」を認識し、当社を利用される全てのお客様にご理解とご協力をいただきながら、経済効果とのウエルバランスを保ちつつ、全組織を挙げて環境負荷及び環境保護の低減に努めます。

**方針**  
 京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社は、観光宿泊施設として利用される全てのお客様に心行くまでご満足いただくための安心・安全かつ快適な環境を提供するなかで、全てのサービス活動が環境に及ぼす影響を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動・製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。なお環境保護には、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動・製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守し、環境保護の向上に努めます。
3. 当社の活動・製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取組みます。
  - ① 電気使用量の削減
  - ② 生ゴミ排出量の削減
  - ③ 環境教育・啓発活動
  - ④ 生物多様性の保全活動
  - ⑤ 事業所周辺の清掃啓発活動
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を組織の全員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。  
 上記の方針達成のために、環境改善目標を設定するとともに、定期的に見直し環境マネジメント活動を推進します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

**環境への取り組み**  
 訪れるお客様に心のくつろぎや開放感、ゆったりと心豊かな時間を満喫して頂くには目の前に広がる雄大な琵琶湖やそれをとりまく環境なくしては成り立ちません。  
 環境配慮活動として、電気、ガス、紙の削減、節約を主に行って参りましたが、既に定着した電気、ガス、紙の定番アプローチから脱却し、環境を観光資源の一つに捉えたビジネスレベルで環境問題に取り組める活動へとシフトして参りました。

1. 「里山の食彩」の利用推進  
 「里山の食彩」の商標登録以降、「里山の食彩」の利用推進を行いました。さらに使用アイテムを増やし、「棚田米」の積極利用を実現致しました。
2. 食品リサイクル  
 生ゴミの堆肥化による食品廃棄物の再利用及び一部の調理食材を加工済み食材に変更するなどして排出生ゴミの減量化を行い、食品リサイクル法に基づく食品廃棄物の再生利用等の実施率を達成しております。

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	大型空調機の運転時間や設定温度を基準化し運転管理を適切に行う	2022年~2024年	
2	設備導入	各照明をLED電球へ取替を実施し電力量(電力費)を削減する	2022年~2024年	
3	運用改善	深夜電力の積極利用を推進し夜間蓄熱による日中の空調負荷を軽減する	2022年~2024年	
4				
5				

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
電気・ガスの使用量を削減する	

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,885					
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	3,017	0	0	0	0	0
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	3,017					
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績	グリーン電力導入の検討をしています。				

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	単位	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の 実績	実績報告					
			( )年	( )年	( )年	( )年	( )年	
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>							
【調整後排出係数】	kg-CO <sub>2</sub> /kWh							
特記事項								

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の 実績	実績報告					
			( )年	( )年	( )年	( )年	( )年	
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>							
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>							
特記事項								

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				( )年	( )年	( )年	( )年	( )年
保有車輛の数		台						
上記のうち 次世代自動車の数		台						
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	3R	生ごみの堆肥化による食品廃棄物の再利用及び一部の調理素材を加工済み食材に変更するなどして排出生ゴミの減量化を行い、紙などの資源ごみを直接工場などに持ち込み3R運動を推進する	2022年~2024年	
2	生物多様性	多様な生物の宝庫である“あぜ”の植生をモデルに、ホテルの敷地内にその環境を創出する	2022年~2024年	
3				
4				
5				